

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果 (平均正答率 %)

言葉の特徴や使い方に関する事項 自校 (33.3) 広島県 (65.9) 全国 (64.4)

I 正答率の低い問題 (下位3問)

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

問題番号1二(1) 正答率 33.3%

オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

問題番号3一 正答率0.0%

【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選ぶ。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

問題番号2三ア 正答率0.0%

【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す。(きょうぎ)。

II 考えられる主な原因

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択することができない。

- ① 一定の文章を読んで要旨をつかむことができない。
- ② 一定の文章を読んで登場人物とその会話が誰のものか読み取れない。
- ③ 文章の内容から同音異義語の意味を考え漢字を思い出して書くことができない。

III 解決に向けた授業改善等の取組

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ・教科書の教材文を読む時にこの会話は誰の発言か考えさせる。
- ・同音異義語の意味と漢字を重点的に指導し定着を図る。

教科書の教材文を読んだ後に、自分の思いを発表したり書いたりする取り組みを行う。

IV 今年度の目標

	6年生
検証問題の結果(正答率) 令和7年2月25日実施	66%
学年末テストの中の言語事項の問題	66%